倉吉市地域包括ケア推進計画（第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）策定に係る
パブリックコメントの結果について

倉吉市地域包括ケア推進計画（第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）の策定にあたり、より充実した計画とするため、市民の皆様のご意見・ご提案を広く募集しましたので、その結果を公表します。

1 パブリックコメント募集の概要

(1) 実施期間 令和6年1月10日（水）～令和6年1月31日（水）

(2) 募集方法 郵送、FAX、電子メール、持参により提出

※市ホームページへの掲載及び紙媒体の資料を下記に配架

長寿社会課（市役所第2庁舎）、関金庁舎、市立図書館、倉吉市社会推進協議会、
各地区コミュニティセンター、各地域包括支援センター

(3) 応募数 3件

2 パブリックコメントの内容と市の対応

NO.	意見（要旨）	市の対応
1	<p>第8期に掲げた取り組みのチェックに対し、倉吉市がどう変わってきているのか、目的に向かって目標やどう取り組んでいくのかがなくては推進計画にならないのではないのでしょうか。</p> <p>「推進します」とか「検討します」ではなく、「〇〇と一緒に市民に徹底します」等、もう少し詳細な取り組みを記載してはどうでしょうか。</p>	<p>本計画に対する詳細な取り組みについては、年度ごとの具体的な計画に基づき実施し、その結果を評価し、次年度の取り組みに反映させるPDCAサイクルにより、計画の進捗管理を行います。</p> <p>また、取り組みの内容、結果および評価について、各年度末に倉吉市いきいき長寿社会推進協議会にて報告するとともに、市ホームページにて市民の方に広く周知するよう考えています。</p>
2	<p>高齢者もスマートフォンやタブレットを持っておられる方も増えてきている印象があり、こういった機器を活用して、日常的に健康意識を高めたり、フレイル予防に資する情報提供をされると良いのではと思います。</p> <p>他市町では、独自にスマートフォンアプリを作成し、介護予防に資する情報提供をしたり、自主トレのきっかけを作るような取り組みをされているところもあると聞きます。</p> <p>市民にとって身近なツールであるスマートフォン等からの情報発信・啓発・データ収集などを具体的に検討されてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見を承ります。</p> <p>市民への介護予防・フレイル予防に資する情報提供等について、他市町の事例等の情報収集を行うとともに、効果的なツールおよびアプリケーション等のICT活用について検討します。</p> <p>具体的な取り組みについて、倉吉市いきいき長寿社会推進協議会にて報告し、市ホームページにて市民の方にも広く周知するよう考えています。</p>

NO.	意見（要旨）	市の対応
3	<p>「住み慣れた我が家・地域、もしくは望む場所でいつまで元気に」を支えるための仕組みである地域包括ケアシステムが適正に機能していくためには、自助・互助の充実も重要ですが、同様に共助の増強が必要と思われます。</p> <p>しかし、昨今、介護従事者の高齢化に伴う離職、介護分野への就職者数の伸び悩み等から、支え手の不足によるサービス事業所の運営困難が発生しており、特に日常生活を支える主役ともいえる訪問介護サービスでは深刻です。</p> <p>令和8年までの事業所整備として、小規模多機能型居宅介護の増設が上がっておりますが、特に夜間を支えるサービスが鳥取県中部は大いに不足しています。</p> <p>東部・西部にはある『夜間対応型訪問介護』や『定期巡回・随時対応型訪問看護介護』といった夜間の在宅介護を支える社会資源がないという現状は深刻であり、サービス調整の要である介護支援専門員も、社会資源が不足する状況で、夜間の生活課題が大きくなれば、施設入所を選ばざるを得ない状況です。</p> <p>事業所整備を検討される中で、夜間の介護を支える上記のようなサービスについても創設されるような取り組み、法人等への働きかけが重要ではないかと考えます。</p>	<p>ご意見を承ります。</p> <p>夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問看護介護の整備について、令和2年度に公募を実施しましたが、応募がない状況でした。しかし、一定期間が経過していることから、ニーズの把握および関係する事業所等の状況を確認しながら、当該サービスの整備を検討します。</p>